

記述回答のまとめ ◎＝30以上 ○＝10以上 △＝3～9 ・＝2以下

「スポーツ立県あきた」について

問20(1)【記述者数 231名】

宣言の前と後で変わったと思われることがありましたらお書きください。

○スポーツ大会、イベント等の開催、スポーツへの参加について【29名】

- ※イベント、大会が増えた。
- ※高齢者もイベントや大会に参加する機会が増えてきた。
- ※各種競技種目の大会が行われる回数が多くなった。
- ※大規模大会が増えたように思う。
- ※ニュースポーツなど交流スポーツが多くなった。
- ※スポーツ人口(参加者)が多くなった。
- ※シニア層のスポーツ参加が増えたと思う。
- ※プロ選手を呼んでのデモンストレーションが増えた。
- ※誘致等(合宿など)が多くなった。

○プロスポーツについて【25名】

- ※プロスポーツ活動が盛んになった。
- ※バスケットボール(ハビネッツ)やサッカー(ブラウブリッツ)の結果をよく見るようになった。
- ※バスケットボールやサッカーなどでプロのチームの活躍が目立ち、県民に彼らを応援しようという意識が高まったように思う。
- ※プロスポーツが前面に出てくる機会が多くなったように思われる(テレビ、新聞等にあげられる事が多い)。
- ※プロスポーツの躍進が素晴らしい。市町村との連携が進んできている。

○報道、PR・広報について【23名】

- ※ニュースや新聞にもスポーツに関する事が多く取り上げられているように感じる。
- ※駅やスポーツ施設で幕やのぼり旗を見かけるようになった。
- ※広報などで取り上げられ盛り上がりを感じる。
- ※県内のスポーツ情報がわかりやすくなった。
- ※体協やスポーツ推進委員の方々が各種スポーツ交流会などを実施し、積極的に地域住民へアピールするようになり、スポーツに親しむ人数が増えたと思う。

○県・市町村について【12名】

- ※チャレンジデーの参加市町村が増えてきた。
- ※県が積極的に宣伝するようになった。
- ※県や秋田市主催の運動教室が定期的に行われるようになった。
- ※知事の積極的な姿勢が感じられる。
- ※行政のスポーツに対する取り組みがはっきりとわかり、見えるようになった。

問20(2)【記述者数 704名】

スポーツについて秋田県の施策で不足していると思われること、もっと取り組んでほしいことがありましたらお書きください。

◎施設について【249名】

- ※5000人以上収容できる会場を確保してほしい。
- ※Jリーグ規格に合ったスタジアムの建設・若手指導者の就職を確保してほしい。
- ※施設使用料を無料にしてほしい。
- ※施設の老朽化(雨漏り、床板のはがれ等危険だと思うところもあるので)。なおしてほしい。
- ※スタジアム近くの駐車スペースを広くとってほしい。
- ※体育館など気軽にスポーツできるところがほしい。
- ※無料で気軽に使える施設をもっとわかりやすく告知してほしい。ウォーキングできそうな道路の整備(悪路の修繕)をしてほしい。
- ※冬期でもできるスポーツ施設を建設してほしい。

◎広報、メディア等におけるPRについて【137名】

- ※秋田県内どこでどんなスポーツが行われ、一般で観戦できるものなのかという情報を出してほしい。
- ※アピールと企画。企画はもっと万人に興味を持ってもらえるような内容で考慮すべき。
- ※インターネットが普及していると思うが、ネットのない家ではいろんなイベントを知ることが難しい。施設の利用料なども、ネットで調べるのは簡単だがネット以外での情報収集がもう少しできると声かけあつて集うことができる。もっと周知させてほしい。
- ※声かけの行為は早いですが、長続きしていないように思う。
- ※若年層への周知が足りていない。
- ※総合型地域スポーツクラブのPRが不足している。テレビなどのメディアをもっと利用すべきである。
- ※誰でも気軽に参加できるサークルがあればやってみたいと思う。情報をもっと発信してほしい。
- ※どのようなスポーツがどこで行われているのかPRしてほしい。
- ※マイナースポーツの取り上げ方が不足している。
- ※メディアへの情報が少なすぎる。

◎支援・機会の拡充について【82名】

- ※いろいろな競技で県民スポーツ大会程度の大会を増やしてほしい。
- ※いろいろな行事や大会、ウオーキング的なものを増やしてほしい。
- ※気軽に体験できる無料のスポーツ体験の日などがあれば良い(月1程度)。
- ※高齢者向けに簡単にできる運動を住んでいる近辺でやってほしい。
- ※子どもが小さい頃からスポーツに関心を持てるようなイベントを行ってほしい。
- ※障害者スポーツをもう少し充実してほしい。
- ※職場で運動する機会がチャレンジデーの年1回で終わってしまうので、秋田県だけの「〇〇の日」が年3回くらいあったらいい。
- ※年齢を問わず、お金をかけず楽しく笑いが生まれるような行動をおこしてほしい。運動と言わず踊りでもみんなが覚えることの出来る楽しい方法を教えてほしい。
- ※働いたり、子育て中でもスポーツに参加しやすい取り組みをしてほしい。
- ※プロスポーツを子どもたちに触れさせる機会が増えてほしい。

◎スポーツ指導者について【76名】

- ※秋田県出身のアスリートが秋田で就職または活躍できる場が少ないと思う。秋田に帰ってきて、秋田の子ども達を指導してくれればスポーツのレベルが向上するのではないか。
- ※最終的には全国レベル、プロレベルまで育てる指導者が不足している。指導者育成に取り組んでほしい。
- ※優れた指導者の確保・育成と適正配置。
- ※スポーツを教える指導者を育成してほしい。
- ※スポ少指導者の指導方法改善。
- ※ニュースポーツの普及と指導者の養成。
- ※プロによるスポーツ指導を増やしてほしい。

◎選手強化・支援について【56名】

- ※子どもたちや団体に対する施設利用などに対する利用金の助成や無料化。
- ※財政的な支援をしてほしい。
- ※指導者の育成資金補助・助成。
- ※もっと全国、世界に通用する選手を育ててほしい。

◎イベント・大会・合宿などの誘致について【32名】

- ※大会の誘致に力を入れてほしい。
- ※全国規模の大会を秋田市以外の市町村でも行ってほしい。
- ※他県(大学生等)からの合宿等の誘致。
- ※プロスポーツの誘致活動が非常に足りない。

◎県内プロスポーツについて【17名】

- ※プロスポーツ(バスケットボール、サッカー)をもっと積極的にサポートし、県内の経済を活性化してもらいたい。
- ※プロのスポーツ選手と交流できるようなイベントを開き、多くの人がスポーツを身近に感じ取ってくれるような取り組みを望む。

◎高校スポーツについて【12名】

- ※高校野球レベルアップに対してのバックアップ。

※甲子園で秋田勢がもっと勝ち進めるように援助してほしい。

問21【ア～ク 記述者合計 1145名】

あなたの住んでいる地域や秋田県のスポーツについて、普段感じていることがありましたらお書きください。

ア) スポーツ少年団について【記述者数 369名】

◎指導について【73名】

※指導者は大変な中、継続してくれているところもあると思うが、もう少し指導者講習があっても良いと思う。

※指導者不足。

※スポーツのみでなく、あいさつ、礼儀なども指導するべきだと思う。

※スポーツを通じ、チームメイトの絆の大切さと苦しくともそれに立ち向かうたくましさを技術を高めると同様に、鍛えてほしい。

◎過熱化について【69名】

※活動時間及び日数を厳守してほしい。

※試合の回数が多すぎる。

※他市町村、県外への遠征が多くなった。

◎少子化について【47名】

※少子化によって団体競技スポーツが出来なくなっている。

※人数が足りずに公式戦に出られないチームがある。合同でやるなど対策が必要だと思う。

◎保護者の負担について【38名】

※親の手伝いが多く大変だが、子どもは楽しんでる。

※子どもの試合、練習試合などの送迎や協力がかなり親の負担になっている。

◎スポ少化について【37名】

※子どもの健全育成を目指すのか、競技力の向上を目指すのか県としての方向性がわからない。スポ少化しているが、大会の参加について、学校単位でなければいけない競技が複数ある。

※指導者が社会人で、仕事を終えてからの活動になるので仕方ないと思うが、小学生の帰りが遅くなるのが心配。

※スポ少化し、保護者がかかわる時間や、負担が多く戸惑っている。仕事の関係で親がサポートできないときもあり、子どもの活動に影響がある。スポ少化が良いとは思わない。

※本当に必要とは思わない。総合型地域スポーツクラブを推進する考え方が必要である。

◎地域・行政との連携について【35名】

※活動費補助がほしい。

※基本的技術の習得、精神的な成長を地域の皆様と応援していきたい。

※スポーツ少年団の運営については各市町村のサポートが必要と思う。少子化のあおりで親の会の金銭的負担や送迎等、苦労している。

※地域の行事に合わせた休みのスケジュールを組んでほしい。

※保護者、地域と一体となって盛り上げていて楽しい。

◎活発な活動について【28名】

※休日でもよくがんばってるなと思う。

※子ども達自身が、とても楽しく熱心に取り組んでいる姿がすごい。また、地域全体でもスポーツ、体を動かすことに興味が強く、すばらしいと思う。

◎競技力向上、強化について【15名】

※小学校の時から育成・強化するべきである。

※全国規模の大会で勝てるようなチーム作りを望む。

◎施設利用について【16名】

※公共施設の使用料について、無料でいいのではと思った。  
※冬場など、室内で練習できる所が近くにない。

=====

イ) 中学校の部活動について【記述者数 235名】

◎指導者・指導について【61名】

※スポーツのみでなく、あいさつ、礼儀なども指導するべきだと思う。  
※多忙化している先生の負担になっているのではないか。  
※指導者のレベルアップ。競技スポーツであれば指導者間の縦の連携が必要。  
※良く頑張ってるし、コーチする人達も良く指導してると考える。  
※指導者のレベルの低さが目立つ。学校の先生が指導するには限界がある。

◎少子化について【51名】

※少子化のためスポーツの範囲が限られている。  
※小中学校の生徒数が少ない学校では、チーム作りができず、満足な部活動ができない。これからは、個人競技や市町村の枠を越えたチーム作りが必要となる。  
※生徒数の減少で選択肢がないことや、チーム編成が困難になっている。

◎部活動の強化・支援について【51名】

※競技力を向上させるため、団体だけでなく、地域を総合的に支援できる取り組みが必要。  
※世界で活躍するような選手の育成に力を入れてほしい。  
※全国規模の大会で勝てるようなチーム作りを望む。  
※部活動にもう少し助成金がほしい(大会・遠征へ)。

○保護者(負担・過熱)について【21名】

※子どもの試合、練習試合などの送迎や協力がかなり親の負担になっている。  
※父母が積極的にサポートすべきである。

=====

ウ) 高校の部活動について【記述者数 178名】

◎部活動の強化・支援について【75名】

※高校野球の全国レベルへの向上。  
※地元からインターハイなどの大会に出場する選手が増えてきているように感じる。  
※世界で活躍するような選手の育成に力を入れてほしい。  
※部活動にもう少し助成金がほしい(大会・遠征へ)。  
※もっと支援・強化策に力を入れてほしい。  
※練習場を充実させてほしい。

◎指導者・指導について【50名】

※教師の負担を少なくし、かつ、生徒の競技意欲を増す。外部コーチの登用など。  
※指導者の養成が不足していると思われる。  
※成長期のトレーニングにおいて、もちろん厳しいトレーニングも必要だが、身体や精神面を休める割合が少ないように感じた。  
※公立学校において部活動担当教員の負担が大きすぎるし、また生徒のレベルが教員の技量に左右される部分大きい。スポーツ立県を宣言するのであれば、積極的に外部コーチ等を導入すべきと思う。  
※全国にほぼ肩を並べる位に育成してほしい。

○ 少子化について【10名】

※少子化により存続の厳しい部活もたくさんある。

○保護者(負担・過熱)について【10名】

※子どもの試合、練習試合などの送迎や協力がかなり親の負担になっている。



=====

エ) 大学のスポーツについて【記述者数 17名】

○活動の強化・支援について【10名】

※大学生レベルのスポーツについて、米国は地域チームと意識し応援しており、本県でも同様の取り組みを強化してほしい。  
※全国レベルとの差を感じる(全国大会で勝ち残れる力をつけてもらいたい)。

=====

オ) 社会人のスポーツについて【記述者数 104名】

◎スポーツの機会拡充について【47名】

※高齢者もそうだが、もっと参加者を増やす工夫があった方がよい。  
※参加してみたいので沢山の情報を知りたい。  
※廃校になった小学校の体育館でバスケットボールがしたい。

◎地域・企業・行政との連携について【30名】

※仕事が終わってからスポーツをする人達にとって、施設の利用時間が21時までというのは少し早いと思う(公共施設、学校開放含む)。せめて21時半までだとありがたい。  
※総合型地域スポーツクラブができてから、スポーツを身近に感じられてより取り組みやすい環境になったと思う。

※地域でのスポーツの回数が減ってきたことを残念に思う。具体的に以前は地域の運動会、地域対抗の綱引き大会など、普段、スポーツとは縁遠い方もそれには参加していたという行事があり、そこでコミュニケーションがとられていたが、今は積極的に、意欲的に、専門的に取り組める方々のみのスポーツで、もう少し根底からの住民総参加のスポーツを村から発信してほしいと思っている。

※市内のスポーツ団体はたくさんある(十分だと思う)。

○強化について【12名】

※指導者等増やしてほしい。  
※全国的に名の通用するスポーツを育てるべき(昔の釜石ラグビーのように)。  
※良く頑張ってるし、コーチする人達も良く指導してと考える。

=====

カ) 高齢者のスポーツについて【115名】

◎スポーツの機会拡充について【65名】

※健康寿命維持の体操を普及させたら良いと思う。  
※健康保持のために、高齢者のためのスポーツ大会や行事が増えれば良い。  
※スポーツをしたくても始めるきっかけが少ない。もっと目につきやすい広告を出してもらいたい。  
※身近なところで安価で健康増進のクラブがほしい。

◎地域・行政との連携について【記述者数 36名】

※体育館や市民プールの近くにバス停や駅がないため、車がないと遠くの人には行きづらい。  
※チームが人数不足で成り立たないケースが増えてくると思う。  
※私の住む地域の高齢者は元気にスポーツを楽しむ方が多く、生きがいにすらされていらっしゃるようで、そういう環境が整っている。  
※町内会単位で行われている例が多くなり好ましい。

=====

キ) 障害者のスポーツについて【記述者数 23名】

○活動の支援について【13名】

※機会があれば、サポートしたい。

※行政・民間共に他県と比べて支援等が遅れていると思う。  
※指導者養成(連続3日では参加不可)日程の組み方に工夫をお願いしたい。

◎地域・行政との連携について【記述者数 8名】

※障害者と一般の人たちによるスポーツ交流を行うべき。行政の企画が不足。  
※雪国なので、障害者のウィンタースポーツを体験できる機会がほしい(チェアスキーなど)。

=====

ク) プロスポーツについて【記述者数 104名】

○興行の誘致について【26名】

※秋田市ばかりではなく町や村に来てほしい。  
※毎年同じようなものだけが予定されており、もっと多種にわたって誘致してほしい。  
※プロスポーツを観戦するチャンスが少ないので、プロスポーツの誘致に取り組んでいただきたい。  
※プロバスケットボールの試合を各市町村でも積極的に行ってほしい。

○今後の期待について【24名】

※今までの秋田の感じではない活動的で生き生きとした雰囲気を感じる。  
※子どもたちが、将来目指したいと思うような活躍を期待している。  
※バスケットボール、サッカー、地域で応援している様子はほほえましい。  
※バスケットボール以外のプロスポーツチームにも活躍してほしい。

○行政・企業の支援について【記述者数 15名】

※秋田NHなどの地元の本拠を置くチームの活躍が目立ってきた。県民・行政・企業が総力を挙げて応援し、具体的な支援をしていくことがスポーツ振興のみならず、地域経済やインフラ整備にも繋がると考える。  
※企業と連携したプロスポーツの支援によりスポーツの魅力を発信してほしい。  
※もっと予算をつけるべきだと思う。

○施設整備について【記述者数 14名】

※プロバスケットについて、ホームアリーナの建設の議論が必要ではないか。  
※ブラウブリッツがJ2、J1に昇格すれば、県外からの観客が増え、お金を落としていく。それにつながるようにスタジアム建設に前向きに取り組んでほしい。

○広報・PRについて【記述者数 11名】

※秋田県を巻き込んでうまくいっている。もう少しTVでやってほしい。